

世界遺産の島・タスマニアへ

山地紘子(杉並区)

日程：2009年1月21日～2月4日（15日間）

憧れのタスマニア島に、昨年の1月と今年の2回行きました。ひょんなことでオーストラリア人から留学斡旋業の日本人を紹介されたのがきっかけです。

昨年は、柔道家と合気道家がタスマニア大学での武術指導のための旅に便乗しました。もっぱら現地の人々との交流が主で、合間にレンタカーで観光名所を巡りました。宿泊場所は大学の学生寮でしたが、食事が美味しいので有名でしたから、全オーストラリアからあらゆる研修に参加する人々が集まって来ていました。大学寮であるので観光目的のみでの宿泊は制限があるようです。今年は教会関係者が100名以上集まっていました。

昨年のグルメと安くて美味しいワインの日々に味をしめて、今年はほんの申し訳程度の英語研修を理由にして、ほとんどが観光の旅でした。

ビッチーノ（ペンギンの産卵場所でも有名）

参加者人数用の8人乗りレンタカーを借りて島内を5泊6日の旅に出ました。まずは、ビッチーノを目指し、途中で動物園に寄り絶滅の危機が懸念されているタスマニアデビルをはじめウォンバット、ポッサム、ハリモグラを見ました。さらにウィングラスベイに寄り、ここは世にも美しい形をした小さな湾で車は禁止されています。歩くときかなりな登り降りがあり、途中の展望台までにしました。帰途ジェットボートで海側から行かれることがわかり翌日の席を予約しました。

ビッチーノは、ペンギンの産卵場所でも有名で、夜は海から上がってきて雛にえさを与え明け方前に海に帰って行きます。宿泊のホテルの庭が産卵場所になっていて、ネイチャーガイドの案内で厳しい規則に従いペンギンの親子を見ました。翌日は、カタマランボートに乗りウィングラスベイまで波と水しぶきの溪流下りのようなワイルドな船旅で、生牡蠣とワインの軽いランチが付いていました。

ローンセストン（川下りとカジノ）

タスマニア第2の町ローンセストンに向かいました。市内最高のホテルでの2泊で、タマリバー（多摩川と覚えやすい）の川下りや川沿いの道をハイキングしました。ホバートとこの町にはカジノがあります。夕食後ちょっと寄ってみました。

クレードルマウンティン（動物天国の世界遺産）

いよいよハイライトのクレードルマウンティンに向かいました。朝のうちの曇りが次第に晴れて、ダブ湖1周2時間のハイキングができました。山の周辺は天候が不安定で過去5回来た案内の方の話では1回だけ晴れただけだそうです。世界遺産のこの周辺はあらゆる環境保護の規制が厳しく、動物達も手厚く保護されています。運良くハリモグラに出会いました。



ハリモグラ

ホバートへの帰り道（魔女の宅急便のパン屋さん）

ホバートへの帰りはシェフィールド、ロス経由の道を取り、ロスは宮崎駿の“魔女の宅急便”の構想が生まれた可愛いパン屋さんでお茶をして寮に戻りました。

寮はホバートの町を一望出来る高台にあります。中心の港までは徒歩20分で、港では土曜日にマーケットが開かれ沢山の人が集まります。また、シーフードの美味しいレストランがありロブスター、海老、牡蠣が有名です。

ホバートを後にして、シドニーに移り2泊し、ブルーマウンティンに行きました。高度経済成長の中国からの観光客で溢れんばかりでした。

“ワインと薔薇”の日々は終わり、後は高くなった血圧と血糖値を下げる日々が待っていました。タスマニアに興味のある方、情報提供いたします。